



AF-CBT 包括的トレーニング 2023

Alternatives for Families: A Cognitive-Behavioral Therapy

家族のための代替案：認知行動療法

<AF-CBT ワークショップ 2023> ※オンライン形式

2023年10月6日(金) 9:30-17:00

10月7日(土)・8日(日) 9:00-17:00

<継続研修>

- ① Web コンサルテーション(月1回、2h×全10回)
- ② アドバンス研修 (2024年4月開催予定、6h)

包括的トレーニングに含まれるもの

- ◇ 3日間(20時間)のワークショップ
- ◇ セッションガイド・ワークシートほか資料
- ◇ 1年間のWeb コンサルテーション (全10回)
- ◇ アドバンス研修 (2024年4月予定、6h)
- ◇ AF-CBT 関連資料・追加資料の共有

参加費 105,000円

参加費は2回に分けてお支払いいただきます
(R5年度 80,000円/ R6年度 25,000円)

申し込み

以下のフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/hPELHJFtay2cSroP6>



トレーナー

犬塚 峰子

AF-CBT Japan 代表、AF-CBT 認定トレーナー/当研究所客員教授

保科 保子

AF-CBT 認定トレーナー/当研究所相談員

ゲストコメンテーター

Meghan Shaver 先生

AF-CBT トレーナー・AF-CBT コンサルタント

- ◇ 受付期間: 2023年5月15日～6月30日
- ◇ お申込みが定員(30名)を大幅に上回った場合、期限より早く募集を締め切ることがあります。
- ◇ 受付終了後、選考手続きを経て7月下旬をめどに参加確定のご連絡をいたします。参加費納入方法や期限についても参加確定通知にてご案内します。

AF-CBT とは？

AF-CBT は、子どもへの身体的虐待や暴言などの問題を抱えた家族の回復のため、ピッツバーグ大学医学部の D.J.Kolko らが開発したプログラムです。実施者である臨床家は、家族が暴力や威圧、強制に代わるよりよい方法(代替案)を見つけ活用することで、家族の安全が図られるようサポートします。

プログラムには学習理論や行動理論、認知行動療法、家族システム論、動機付け面接の手法など、様々な技法や理論が組み込まれており、養育者の不適切な関わりや対応を減らすとともに、虐待の影響による子ども側の情緒・行動上の問題の改善を図り、家庭が安全で、穏やかな場となることが目指されます。親子がともに参加するため、親と子、さらに親子関係のそれぞれにアプローチできるのが大きな特徴です。

なお AF-CBT は、米国 NCTSN(子どもトラウマティック・ストレスネットワーク)により、エビデンスに基づく治療法として推奨されています。

(参考)

AF-CBT <http://www.afcbt.org/>

AF-CBT Japan <http://afcbt-japan.org>

AF-CBT Japan の取り組み

大正大学カウンセリング研究所では、2012年11月、開発者である Kolko 博士の協力のもと、AF-CBT トレーナー Meghan Shaver 氏をお迎えし、国内初のワークショップを開催しました。その後、およそ2年に1回の頻度でワークショップ及びその後の継続研修の実施を重ね、今回は6回目のワークショップとなります。
*第4回 AF-CBT ワークショップ(WS2019)より、犬塚・保科がトレーナーを務めています。

AF-CBT のトレーニングは、① 3日間のワークショップ、② Web コンサルテーション(月1回、全10回)、③ アドバンス研修からなる「1年間の学習プログラム」形式で実施され、米国では1年間通しての参加が求められます。国内では、これまでワークショップ終了後に改めて継続研修への参加希望を募る形式で行ってききましたが、実際に AF-CBT 実践を進めるうえで継続研修への参加が不可欠であることから、「AF-CBT 包括的トレーニング」として1年間のトレーニングプログラムへの参加を募集します。

ワークショップから始まる1年間、ともに学びあうことを楽しみにしております。
皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

【お問い合わせ】 AF-CBT Japan 事務局
大正大学カウンセリング研究所
〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1
TEL: 03-5394-3035
FAX: 03-5394-3041
(担当: 石橋・保科)